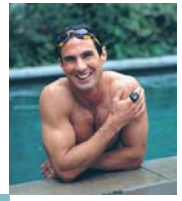
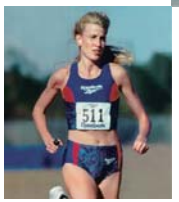
片手親指だけで

スポーツカウント





スポーツカウントの取扱い方：

1．耐水性：
通常の水泳には問題なく使用できますがダイヴィングには適しません。

2．耐温性：
直射日光の下あるいは高温下に長時間放置するのは良くありません。表示が劣化して見えなくなるかもしれません。低温下に放置すると時計が進んだり遅れたりあるいは表示が遅くなります。いずれのケースも常温に戻せば直ります。

3．ショック：
落としたり硬い処にぶつけてはいけません。メカを破損するかも知れません。

4．静電気：
静電気は内蔵の IC に影響します。テレビスクリーンや静電気を発生しやすい乾いた衣服には近づかないで下さい。
強い静電気を発生している可能性があります。

5. 化学物質：
化学溶剤例えばガソリンとかアルコールあるいは化粧溶剤、クリーナー、塗料などに触れないように。損傷の原因になります。

6. バッテリー：
表示が薄くなったらバッテリーを交換をすべきです。時計専門店でリチウム電池 CR1216 或は同等品を求めることを奨めます。

7. ワランティー
決して商品をオープンしたり分解したり中を観察したり自分で直そうと試みしてはいけません。そのようなトライがなく、購買後一年以内に部品素材と製作に起因する不良が発見された場合に限り、販売店の判断により（不良と申出られた商品）の無償修理或は交換を行います。但し、バッテリーは不良判定の対象外です。

開発製造：
スポーツカウント社
(米国・メリーランド州)

総輸入発売：
アコードインターナショナル株式会社
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752
e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com

型番	SPC90000	SPC90010	SPC90030	SPC90040
モデル名	クロノ100	コンビネーション	ストップウォッチ	ラップカウンター
アクセントカラー	レッド	ブルー	イエロー	シルバー
ハンズフリー	YES	YES	YES	YES
耐水深度50m	YES	YES	YES	YES
精度1/100秒	YES	YES	YES	
ラップカウント999	YES	YES		
カウンター9999				YES
経過タイミング	YES	YES	YES	
合計タイム	YES	YES	YES	
最速最遅平均ラップ	YES	YES		
個別ラップx100	YES			
一次停止（ポーズ）	YES		YES	YES

全４モデルの使用説明書です。モデル別はアクセントカラーで区別してあります。どのモデルも 片手親指だけで、スイミングにランニングにウォーキングにサイクリングにスケーティングにスポーツ以外のあらゆるアクティヴィティーにも、タイミングをトレースしカウントしラップナンバー＆ラップタイム＆トータルタイム＆トータルカウントをとります。

クロノカウント100
（レッド）＃90000

スポーツカウント取扱説明書

1.1パワーアップ：
親指でボタンを押してスタートする。右図-1のように「00'00.00」を表示して準備完了です。

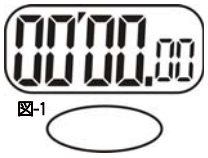


図-1

1.2.タイミングカウントとラップカウント：
ボタンをプレスするとタイム計測がスタートして(図-2)例「1分29秒38/100」のように経過時間を「分'秒.00」で表示する。ボタンをプレスすると最初のラップ＃「L　1」を表示する(図-３)。ラップ番号は３秒間表示され、続いてそのラップ＃１のラップタイムを7秒間点滅表示し(図-４)、続いて再び開始時からの経過タイムの計測表示に戻る。

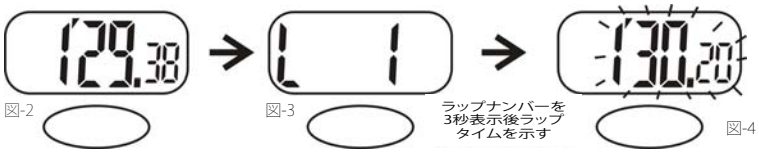


図-2　図-3　図-4

1.3. オーバータイム(１時間以上経過)：
経過時間が1時間を越えると、２桁表示になる。即ち、「分'秒.00」表示から「時.分'秒」表示に変更される。このとき、「秒」の上部にアッパーバーが表示される(図-5)。最大「99:59'59」まで計測表示し「00'00.00」に戻る。動作中24時間内にボタンがプレスされなかったら、スリームモードに入り（バッテリー消耗を防ぎ）100時間に達すると全表示が点滅する。

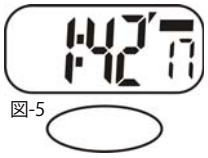
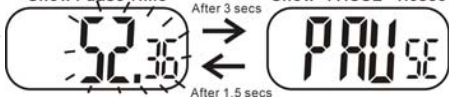


図-5

1.4. ポーズ(PAUSE)：
ボタンを1秒間以内に２回クリックすると計測が一旦停止しそのタイミングと「PAUSE」を交互に表示する(図-６)。再び、ボタンをプレスすると停止したタイミングから再スタートする。

図-6


1.5 サマリーモード：
計測を終了するには最終ラップ計測の後にボタンを3秒間プレスホールドしてサマリーモードに入る。サマリーモード入りは計測終了直後でも或は1時間後でもよい。最終ラップ計測後のサマリーモード入りのボタンプレスは疑似ラップであると判定しデータに参入しない。例えば３０回ラップを取り、少し後にサマリー入りのためにボタンをプレスホールド３秒すると(図-7偽)のように、31番目は「L XX」の如く「L　疑似ラップ＃」として表示される。続いて、正しい合計ラップ数「T　30」を表示する。次に1.5 秒毎に合計経過時間と合計ラップ数を交互に表示する。　ボタンをプレスすると(図-８)のように「AVG　」と平均ラップタイムを３秒ごとに交互に表示する。ボタンプレスすると(図-９)のように最速ラップナンバー「F　ラップ＃」と「最速ラップタイム」を交互に表示する。

>>>>> 次ページ2 に続く >>>>>

ボタンプレスすると(図-10)のように最遅ラップナンバー「Sラップ＃」(Slowest) と「最遅ラップタイム」を交互に表示する。ボタンをプレスする度に(図-11)のように、ラップ＃１から「L ラップ＃」と「ラップタイム」を順次表示(Recal Laps)して、最後に(図-７正)の「T　トータルラップ数」と「トータルタイム」の表示に戻る。「合計」「平均」「最速」「最遅」等の統計値は「999」までの全ラップカウンティングから計算されている。

図-７正

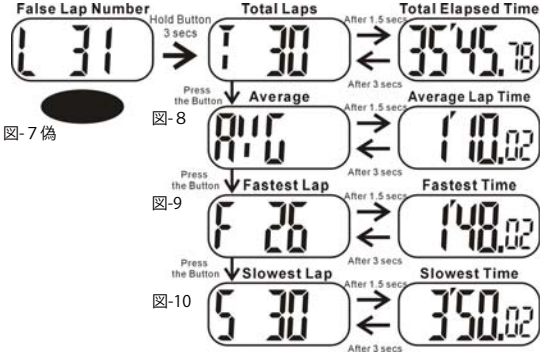


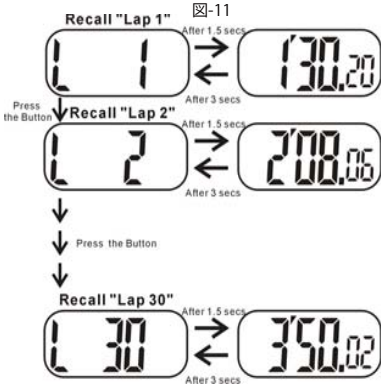
図-７偽

図-８

図-９

図-10

図-11



1.6. リセット：
終了するにはサマリーモードでボタンを3秒間プレスホールドすると表示は「00'00.00」に戻る。メモリーされた全てのラップ値は消滅する。リセットモードで30分経過すると表示は自動的に消滅してバッテリーをセーブする。

コンビネーションカウント
(ブルー) #90010

2.1パワーアップ：
親指でボタンを押してスタートする。右図-1のように「00'00.00」を表示して準備完了です。

2. 2.タイミングカウントとラップカウント：
ボタンをプレスするとタイム計測がスタートして(図-2)例「1分29秒38/100」のように経過時間を「分'秒.00」で表示する。ボタンをプレスすると最初のラップ＃「L　1」を表示する(図-３)。ラップ番号は３秒間表示され、続いてそのラップ＃１のラップタイムを7秒間点滅表示し(図-４)、続いて再び開始時からの経過タイムの計測表示に戻る。

図-1

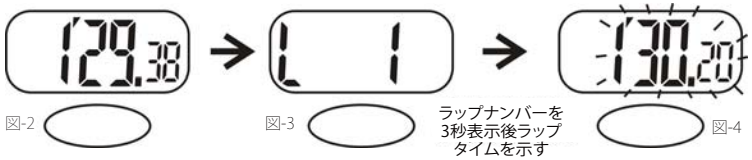


図-2　図-3　ラップナンバーを3秒表示後ラップタイムを示す　図-4

2.3. オーバータイム(１時間以上経過)：
経過時間が1時間を越えると、２桁表示になる。即ち、「分'秒.00」表示から「時:分'秒」表示に変更される。このとき、「秒」の上部にアッパーバーが表示される(図-5)。最大「99:59'59」まで計測表示し「00'00.00」に戻る。動作中24時間内にボタンがプレスされなかったら、スリームモードに入り(バッテリー消耗を防ぎ)100時間に達すると全表示が点滅する。

図-5

2.4 サマリーモード
計測を終了するには最終ラップ計測の後にボタンを3秒間プレスホールドしてサマリーモードに入る。サマリーモード入りは計測終了直後でも或は1時間後でもよい。最終ラップ計測後のサマリーモード入りのボタンプレスは疑似ラップであると判定しデータに参入しない。例えば３０回ラップを取り、少し後にサマリー入りのためにボタンをプレスホールド３秒すると(図-7偽)のように、31番目は「L XX」の如く「L　疑似 ラップ＃」(False Lap)として表示される。続いて、正しい合計ラップ数「T 30」(Total Laps)を表示する。次に1.5 秒毎に合計経過時間(Total Elapsed Time)と合計ラップ数を交互に表示する。　ボタンをプレスすると(図-８)のように「AVG　」と平均ラップタイムを３秒ごとに交互に表示する。ボタンプレスすると(図-９)のように最速ラップナンバー「F　ラップ＃」(Fastest)と「最速ラップタイム」を交互に表示する。

>>>>> 次ページ2 に続く >>>>>

ボタンプレスすると(図-10)のように最遅ラップナンバー「Sラップ＃」(Slowest) と「最遅ラップタイム」を交互に表示する。。「合計」「平均」「最速」「最遅」等の統計値は「999」までの全ラップカウンティングから計算されている。

2. 4. リセット：
終了するにはサマリーモードでボタンを3秒間プレスホールドすると表示は「00'00.00」に戻る。メモリーされた全てのラップ値は消滅する。リセットモードで30分経過すると表示は自動的に消滅してバッテリーをセーブする。

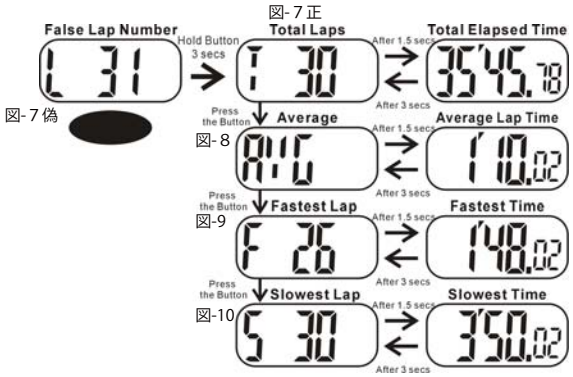


図-７偽

図-８

図-９

図-10

ストップウォッチ
(イエロー) #90030

3.1パワーアップ：
親指でボタンを押してスタートする。右図-1のように「00'00.00」を表示して準備完了です。

3.2. スタート＆ストップ：
ボタンプレスでスタートする。経過時間が「分' 秒 .00」の順に表示される。下図 - 2 の例は「19 分 22.35 秒」(19 分 22 秒 &35/100) を表示。経過時間が 1 時間を越えると 2 桁表示になる。即ち、「分' 秒 .00」表示から「時 : 分' 秒 」表示に変更される。このとき、「秒」の上部にアッパーバーが表示される (図 -3)。最大「99:59' 59」まで計測表示し「00' 00.00」に戻る。ボタンプレスで計時をストップする。

図-1

図 - 2

図 -3

3.3. リセット：
終了するには計時ストップ後にボタンを 3 秒間プレスホールドすると表示は「00' 00.00 に戻り、リセットモードで 30 分経過するとスリープモードに入る表示は自動的に消滅してバッテリーをセーブする。若し計時中に 24 時間ボタンプレスがないときは自動的にリセットされる。

ラップカウンター
(シルバー)#90040

4.1 パワーアップ：
親指でボタンを押してスタートする。右図-1のように「00.00」を表示して準備完了です。

4.2. カウントとストップ：
ボタンプレスでカウントをスタートする。ボタンプレスの度に「１」を加える (右図- 2) 最大「9,999」までカウント表示し「00.00 」に戻る。

4.3. リセット：
3秒間プレスホールドすると表示は「00 00 」に戻る。次のカウントが可能になる。

4.4. スリープモード：
ラップカウンターは30分間ボタンプレスがないときは自動的にシャットオフしてスリープモードに入る。スリープ中にボタンプレスされると前回カウントの時点からカウントが再開される

図-1

図-2